



世界の中の秋田 秋田の魅力とは？

〔秋田市観光クチコミ大使〕

有限会社スマイルケアプラン 取締役 高橋 勉氏

秋田の魅力は何か？ 秋田の観光を盛んにするには？「秋田育ち東京暮らし、一時アフリカ在住」の流れからの1アイデアをお話します。

私は秋田大学の機械工学科を出て、福祉施設勤務後、「生き生きと暮らすこととはどんなことか」を自分のテーマとし、世界で一番「福祉」とかけ離れたところで生活してみたいと思い、青年海外協力隊員として、ケニア共和国ジョモケニアアツタ農工大講師を2年間務めました。

ケニアへ到着後すぐ、田舎での「現地訓練」がありました。バスの故障などで到着が遅くなり、暗がりの中、英語もあまり通じないところで、目的地を探すことから始まりました。無事到着後に感じたものは「人間のあたたかさ」でした。

帰国後、鍼灸師を経て、1999年にもっと人の役に立ちたいと思い、ケアマネジャーの会社を設立しました。利用者の本当の笑顔が見たいと思い、社名はスマイルケアプランとしました。また、業務上で北



サンフランシスコの高齢者住宅に
介護状況視察で訪問

欧やアメリカなどを訪問しましたが、大きく感じたのは、「民主主義」の内容の違いでしたが、根本の「人間のやさしさ」は大きくは変わりませんでした。

さて、首都圏を始めとする日本人観光客の誘致が課題となっていますが、もう少し広く目を開いて、「外国・世界から関心を持ってもらう」ということも考えて良いのではないのでしょうか。幸いに、当世はICT・情報通信技術やSNS・ソーシャルネットワークサービスを利用した「口コミの拡大版」が盛んです。とはいっても表面的なつくろいやおもてなしは、すぐにメッキがはげてしまいます。「秋田の人間(性)」「秋田人のやさしさ」を伝えたいと思います。

ところで、世の中は、経済がお金が主役となり、貧富の差、地域間格差も大きくなりつつあるように感じます。本来は、貨幣経済も資本主義も人類を豊かにするための仕組みであったはずですが、現在はやや本末転倒の状況が見られます。

私は秋田の暮らしをみて、たくましささえ感じます。(東京より) お金がなくとも、楽しそうに暮らしている、そんな気がします。そこには秋田ならではの文化や工夫があるのではないのでしょうか。経済状況や制度はともかく、自分たちがどう暮らしたいのか(自分たちで)決める。その暮らしぶり、文化、「豊かなこころの有りよう」といったものを世界に発信するのが良いと思います。

経済大国に於ける地方からの、当事者としての暮らしを見つめた動きは、必ずやアジアや他の国々の方達の共感を得ると思います。そして同時に、彼らから得るものも多いと確信します。

ヒントとして、エイジフレンドリーシティの本質を磨き上げ、高齢者のパワーを引き出しましょう。また、国際教養大学という素晴らしい財産を活用する手も有ると思います。



板橋区で介護事業者向け研修会の様子

■略歴

- 1951年 秋田市将軍野生まれ
- 1969年 秋田高校卒業
- 1976年 秋田大学卒業
(福)東京リハビリ協会指導員
- 1981年 ジョモケニアアツタ農工大講師
- 1987年 南ときわ台鍼灸治療室開設
- 1999年 板橋区鍼灸師会会長
(有)スマイルケアプラン設立
- 2004年 みんなの有限会社設立
- 2013年 東京都介護支援専門員研究協議会地域連携委員長